

## 令和7年度 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会 合同会議

**日 時** 令和7年5月27日(火) 14:00～  
**場 所** 名古屋都市センター 14階 特別会議室  
**参加者** 47名

「令和7年度 中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会 合同会議」が開催されました。当日は、中部四県（岐阜、静岡、愛知、三重）の各協会の会長ならびに役員の皆様、環境省中部地方環境事務所、第三・第四管区海上保安本部関係者、中部四県の各県および政令指定都市等の担当者、あわせて47名が出席され、産業廃棄物の不法処理事例の現状や、それに対する対策について意見交換が行われました。

会議では、環境省中部地方環境事務所をはじめ、海上保安本部および各県・政令市等から産業廃棄物の不法処理事例の現状とその対策についての説明がありました。説明の中では、不法投棄件数や投棄量の推移、不法処理事案の報告に加え、監視・指導体制の強化として委託業者による休日や夜間の巡回監視の実施、カメラやドローンを用いた監視体制の整備、さらにはヘリコプターによるスカイパトロールの運用などが報告されました。また、中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市および警察が連携し、三県等合同で路上検査を実施する取り組みも紹介され、不法処理の未然防止および早期発見に向けた取り組みが着実に進められていることが共有されました。

意見交換では、「この会議は、各県・政令市内における不適正処理事案に関する取り組み状況等の情報を共有し、不法処理防止に向けた情報交換を行うことにより、関係者が一丸となって再発防止に努めていくための、重要な場です。そのため、次年度に備え、共有された現状と対策について、どのような点に苦慮しているのか、次の担当者へ確実に引き継いでいただけると、より有意義な会議となります。」と要望がありました。また、「本会議は各県が所管する、産業廃棄物不法処理防止連絡協議会の合同会議であり、各県協会が持ち回りで会場を確保し、全産連中部地域協議会と連携して開催している。この会議の目的をより明確にするためにも、各県の連絡協議会の規約を愛知県協会まで送付していただき、今後、規約の共有化を図っていきたい。」とお願いがありました。こうした意見が交わされ、会議は盛況のうちに閉会しました。



### 〈出席者名簿〉

環境省中部地方環境事務所資源循環課 廃棄物対策等調整官	課長 赤塚 康司 遠藤 稔
第四管区海上保安本部警備救難部刑事課	捜査管理官 山口 智史 第二捜査係 山本 陵生
岐阜県環境エネルギー生活部廃棄物対策課	課長補佐兼係長 大森健太郎
岐阜市環境部産業廃棄物指導課	主査 塩谷 和明 主任技師 寺田 有里
(一社) 岐阜県産業環境保全協会	会長 大坪 敬明 専務理事待遇 渡邊 靖信
第三管区海上保安本部警備救難部刑事課	第二捜査係長 中野 史崇 捜査係長 上平誠一郎
清水海上保安部警備救難課	捜査係長 上平誠一郎
静岡県警察本部生活安全部生活保安課	環境経済課長補佐 鈴木 隆仁
静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課	不法投棄対策班班長 中村 直樹 不法投棄対策班主査 野澤 祐基 不法投棄対策班主任 福原 一
静岡市環境局廃棄物対策課	主任主事 糟屋 通利
浜松市環境部産業廃棄物対策課	副技監 落合 輝 主任 井加田 勲
(公社) 静岡県産業廃棄物協会	会長 新井 康久 理事・適正処理委員長 白井 浩行 専務理事 秋山 雅幸 事務局次長 瀬崎 秀五
四日市海上保安部警備救難課	警備救難係長 鳴海 和宏
三重県環境生活部環境共生局廃棄物監視・指導課	係長 地主 大智 主査 蛭川 智貴
(一社) 三重県産業廃棄物協会	会長 堀川 勉良 専務理事 和田 一人 理事・適正処理委員長 前山 泰彦 事務局長 平見 元通
名古屋海上保安部警備救難課	係長 市来 尚道
愛知県環境局資源循環推進課産業廃棄物適正処理推進室	室長 夏目 享之 主査 古畑 政樹 主任 鈴木 宏典
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課	課長補佐(産業廃棄物指導担当) 宇多 健一
豊橋市環境部廃棄物対策課	主査 兵藤健太郎
岡崎市環境部廃棄物対策課	係長 森本 徳恵 主査 川村 知輝
一宮市環境部廃棄物対策課	課長補佐 浅野 大輔 主査 太田 祐樹
豊田市環境部廃棄物対策課	担当長 石田 尚志
(一社) 愛知県建設業協会環境対策委員会事務局	上席 土田 浩通 会長 永井 良一 副会長 中野 兼司 副会長 新美 三良 専務理事 小野 俊之 事務局長 小坂 元信 事務局次長 中西 岳志

(順不同・敬称略)